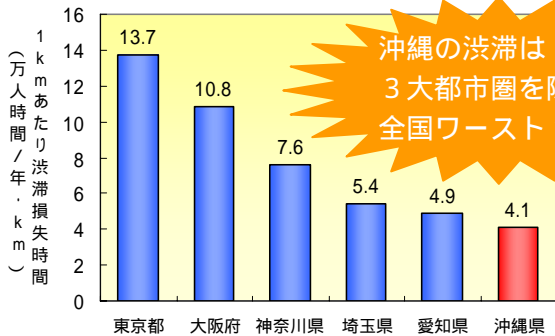


現状と課題

沖縄県の渋滞は、全国と比較してもその規模は著しく、1 kmあたりの渋滞損失時間が3大都市圏（東京圏・大阪圏・名古屋圏）を除くと**ワースト1位**となっています。



沖縄の渋滞は3大都市圏を除くと**全国ワースト1位**

【渋滞の全国比較(H14) ~全県の比較~】

県内の渋滞が集中している那覇都市圏では、自動車からのCO₂排出量も高くなっており、CO₂削減アクションプログラムに位置付けられた対策が必要な主要渋滞ポイントが29箇所存在します。



【区間別年間CO₂排出量(キロあたり)】



対象交差点(全50箇所)

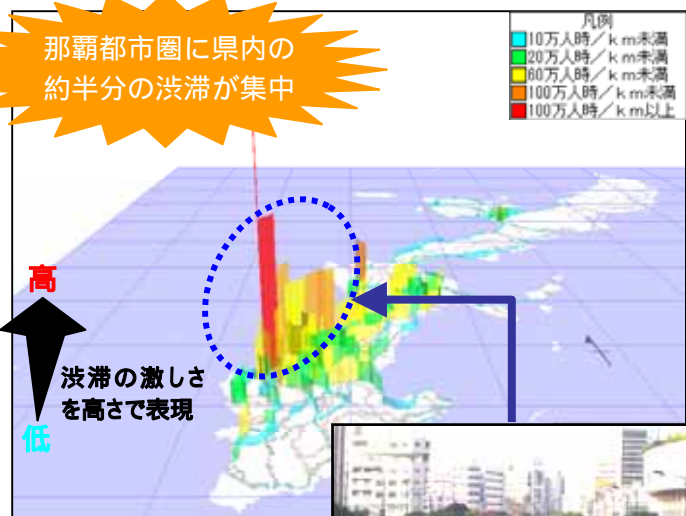
【CO₂削減アクションプログラム交差点の位置】

高速道路の利用促進や料金所の渋滞緩和に効果を発揮するETCの利用状況は、沖縄県では23%と全国で最下位となっています。

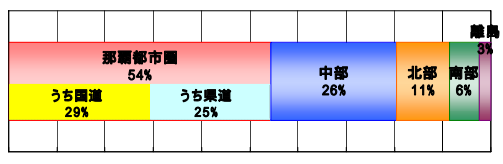
沖縄県では、県民一人が渋滞により浪費する時間は、**1年間に2日以上**(約50時間)となっています。

沖縄県の渋滞は、那覇市を中心とした那覇都市圏に集中しており、そのうち、国道58号や国道329号といった幹線道路に全体の半分近くが集中しています。

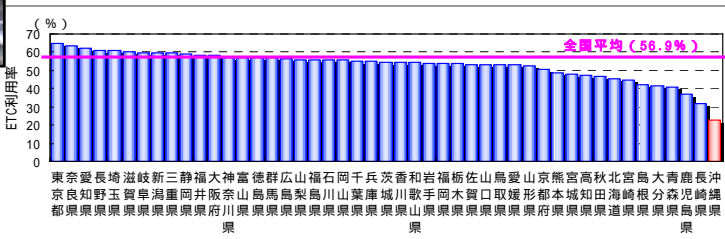
那覇都市圏に県内の約半分の渋滞が集中



【渋滞の状況(H17)】



【渋滞の地域別構成(H17)】



【ETC利用率(H17)】



CO₂削減アクションプログラムとは??

道路の渋滞が激しい箇所に対して、渋滞を緩和・解消するとともにクルマの利用方法の改善などを体系的に実施する施策であり、今後7年間で重点的に実施していくプログラムです。



道路の混雑の原因を取り除き、渋滞の削減・緩和を図るとともに、自動車からのCO₂排出量を減らします



CO₂削減アクションプログラムの推進と渋滞損失時間の削減

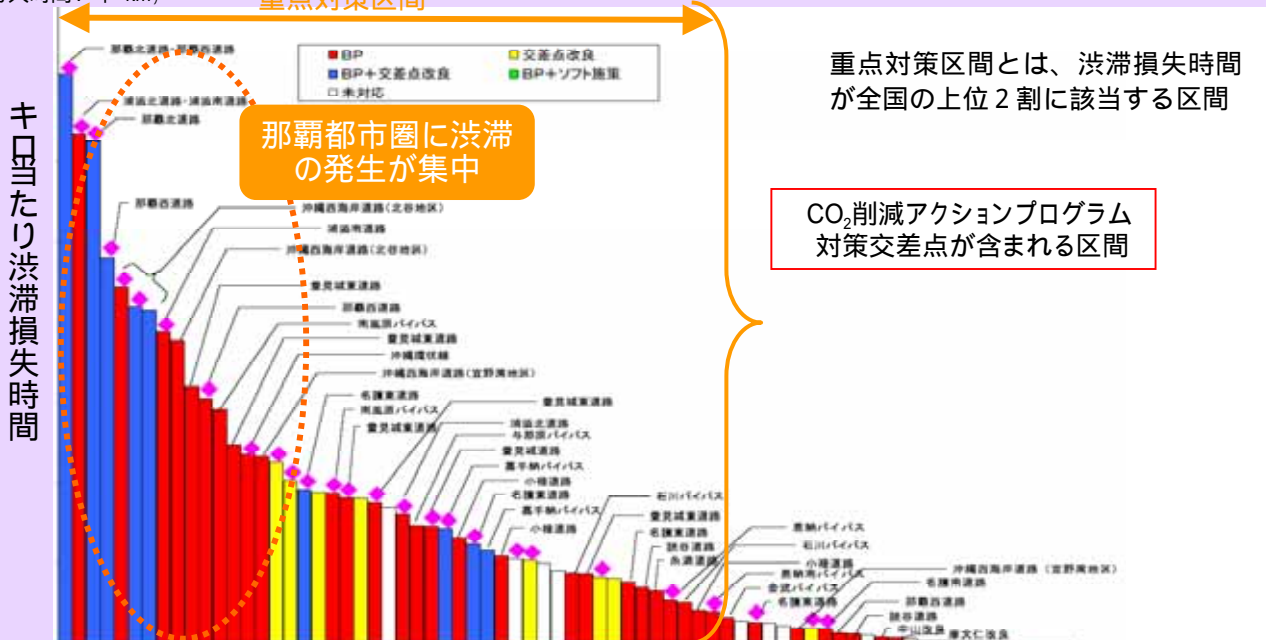
様々な渋滞データから、渋滞の激しい箇所・区間から計画的に対策を実施

渋滞の激しい交差点を把握し、策定したCO₂削減アクションプログラムによる渋滞ポイント（50箇所）での計画的な渋滞対策事業を7年間で実施していきます。

1km当たりの渋滞損失時間から**重点対策区間**を選定し、計画的に渋滞対策事業（バイパス事業などの長期対策・交差点改良などの短期対策）を実施していきます。

(万人時間/年・km)

重点対策区間



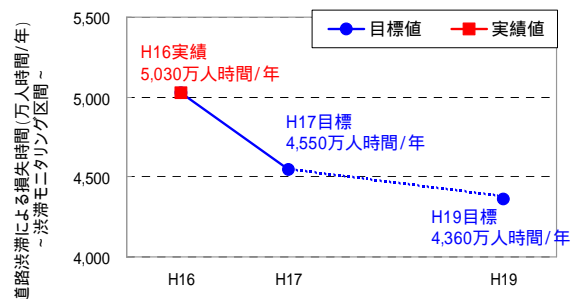
【H16年度の1km当たりの渋滞損失時間と実施予定事業】

平成17年度目標



道路渋滞による損失時間を約10%削減(渋滞モニタリング区間)

渋滞モニタリング区間とは、毎年度、旅行速度調査などの実測調査を実施している区間



渋滞損失時間とは??

渋滞が無く快適な走行時の所要時間と実際の所要時間の差を意味します。渋滞損失時間が高いことは、渋滞が激しい状態を表します。

平成17年度の取り組み事例



CO₂削減アクションプログラムによる計画的な事業の実施

平成17年度に実施した主な事業・施策

事業・施策の名称	対策前	対策内容	完了年月	整備事例
国道331号 豊見城道路	国道331号現道部は那覇以南で最も渋滞が著しい	小祿バイパス - 糸満市間に4車線道路を整備	H18年2月 部分暫定供用	A
国道58号 伊差川(西)交差点改良	連続する交差点前後の車線の交通容量不足が原因で朝夕の渋滞が発生	・交差点改良 ・車線数の増加(下り車線の片側1車線からの2車線拡幅)	H18年5月完了	B
海洋博公園サマーフェスティバルにおけるパーク&バスライド社会実験	海洋博公園にて毎年実施される花火終了直後に帰りが集中し、名護市街 - 海洋博公園にて激しい渋滞が発生	パーク&バスライド社会実験	H17年7月実施	
国道58号 泊ふ頭入口交差点	国道58号は渋滞が著しい	交差点改良	H18年3月完了	
国道58号 嘉手納交差点改良	国道58号は渋滞が著しい	交差点改良	事業継続中	
国道330号 石平交差点改良	国道から東海岸方面への右左折交通により渋滞が発生	右折帯の2車線化整備を実施するとともに左折専用車線を新設	H17年2月完了	
公共交通利用者促進策(ソフト施策)	沖縄県のバス利用者数は減少傾向	バスロケーションシステムを導入	事業継続中	
新川交差点	県内における主要渋滞区間	4車線へ拡幅整備	H18年3月完了	
崎山交差点	県内における主要渋滞区間	線形改良・拡幅整備	H17年8月完了	
宜野湾北中城線	県内における主要渋滞区間	4車線へ拡幅整備	事業継続中	
宜野湾南風原線	県内における主要渋滞区間	4車線へ拡幅整備	事業継続中	
真地久茂地線外1線	線形不良・幅員狭小	線形改良・拡幅整備	事業継続中	
南風原中央線	県内における主要渋滞区間	線形改良・拡幅整備	事業継続中	
新都心牧志線外1線		4車線の新設整備	事業継続中	

A 国道331号 豊見城道路の開通

糸満市、豊見城市及び周辺道路の渋滞緩和を目的の一つとして整備

平成18年2月25日(土)に、豊見城市瀬長～豊崎間(延長2.3km)を2車線道路として開通しました。

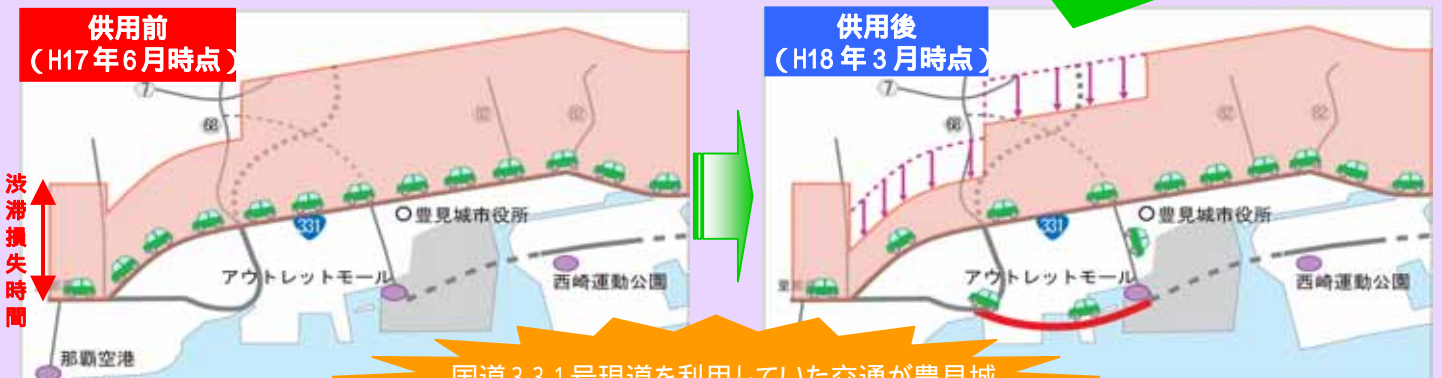


国道331号現道を利用していた交通が豊見城道路へ転換

国道331号現道の渋滞損失時間が約42%削減しました。

同路線の交通量(豊見城市伊良波付近)が約47%減少しました。

渋滞損失時間が
77万人時/年 → 45万人時/年(約42%減)

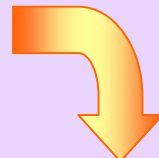


国道331号現道を利用していた交通が豊見城道路へ転換することで渋滞が大幅に緩和



B 国道 58 号 伊差川（西）交差点改良

休日における観光客やレジャー客の車両による観光渋滞の緩和を目的として整備
平成 18 年 5 月に国道 58 号名護市伊差川（西）交差点において、交差点改良や車線の増設が完了しました。

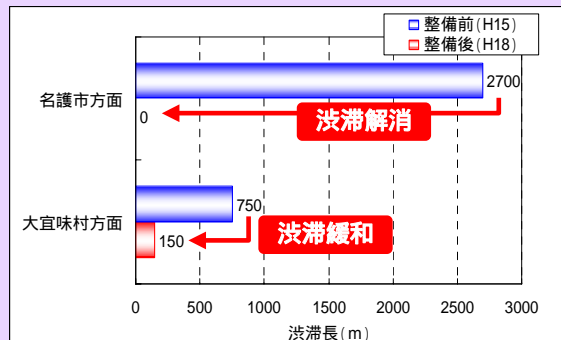
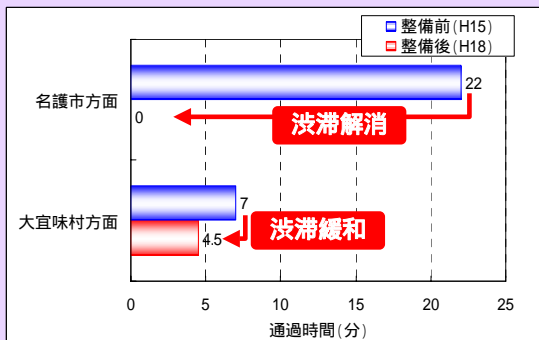


【対策内容】



交差点改良、車線数増加により渋滞が削減

交差点の最大通過時間 **22** 分（渋滞長：2700m）が、**0** 分（渋滞長：0m）に解消されました。
データだけでなく、利用者みなさんも渋滞削減効果を実感しています。




協働パトロール・意見交換会実施風景

利用者みなさんにも効果を実感していただくために協働パトロールを実施した結果、参加者全員が渋滞解消の効果を実感していることを確認



評価



～ 道路渋滞による損失時間の削減 ～

目標
約 10 % 削減

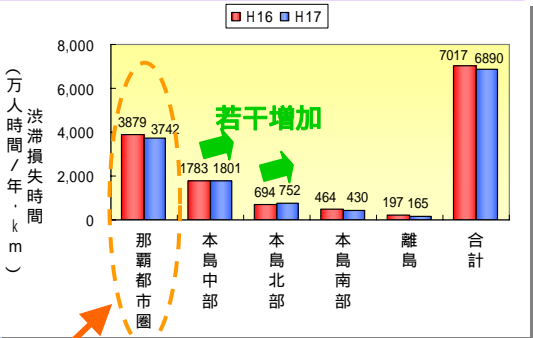
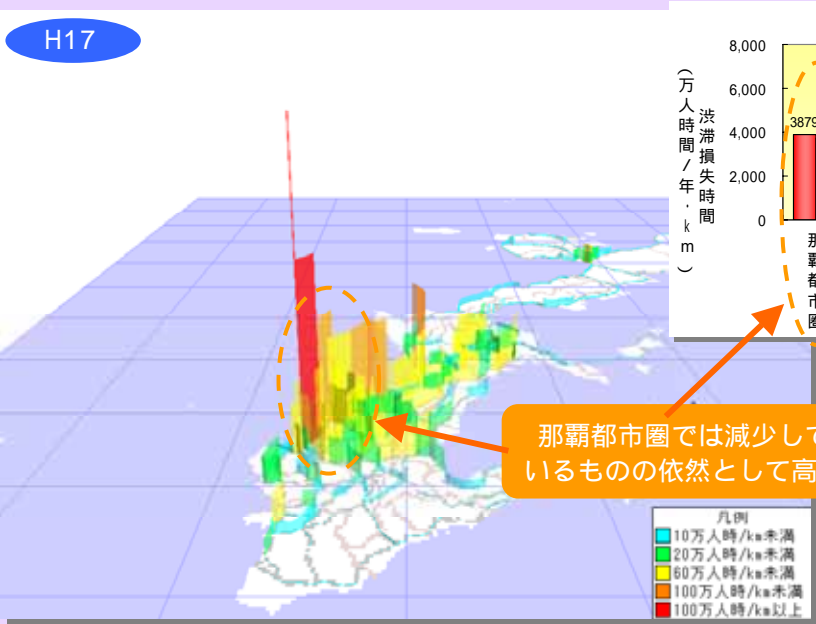
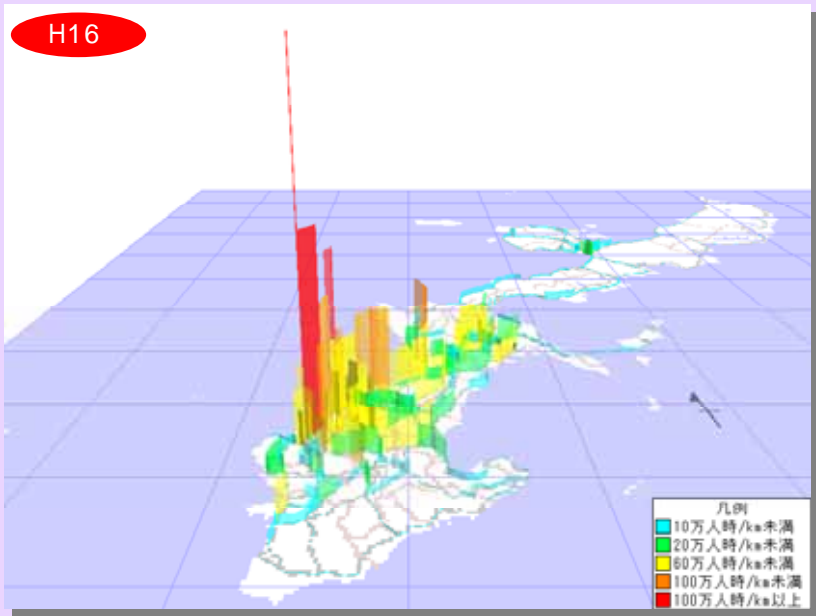
実績
約 3 % 削減



沖縄県の渋滞モニタリング区間全体の渋滞損失時間は平成 16 年度に比べて約 3 % の削減に留まったため、目標を達成できませんでした。
ただし、計画に基づき対策を実施した箇所では渋滞の削減効果が見られています。

道路渋滞による損失時間を削減

事業実施箇所の供用により渋滞損失時間が減少し、県全体で渋滞損失時間が年間約 130 万人時間削減され、県民一人あたり年間で約 0.9 時間削減されたこととなります。しかしながら、全国的にみても依然として渋滞損失時間は高い状況です。



那覇都市圏では減少しているものの依然として高い

【渋滞の状況の変化 ～ 沖縄県全体 ～】



平成18年度目標

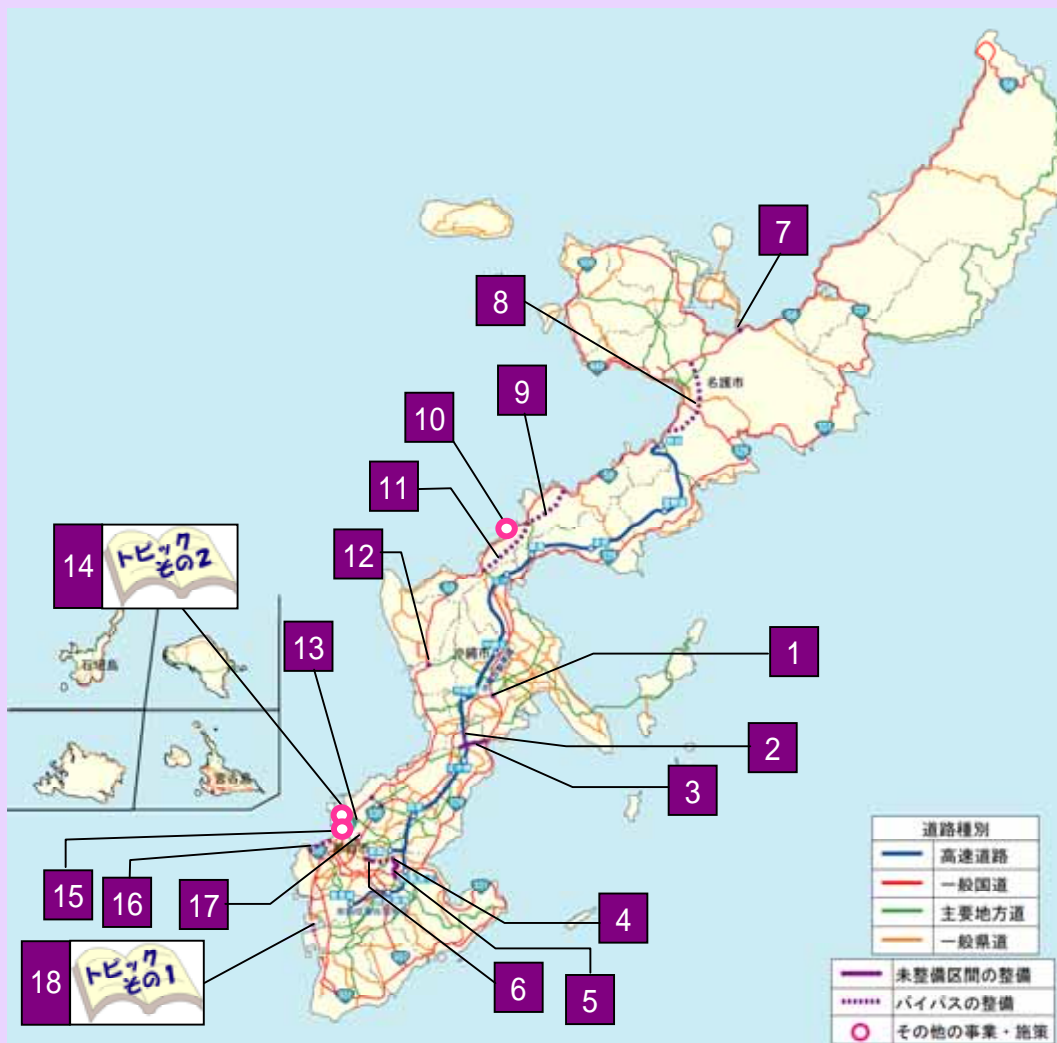


CO₂削減アクションプログラムを推進するとともに、渋滞による損失時間を約8%削減

平成18年度も交通渋滞の削減に向け、引き続き以下の取り組みを実施

【平成18年度の実施予定の主な事業・施策】

トピック	事業・施策の名称	完了予定年度	対策内容	期待される効果
1	コザ交差点改良	H18年度	交差点改良	交通渋滞の緩和
2	喜舎場スマートIC社会実験	H18年度実施	沖縄自動車道喜舎場BS(バスストップ)にスマートICを整備	渋滞損失時間の低減
3	宜野湾北中城線	H22供用予定	4車線へ拡幅整備	渋滞損失時間の低減
4	宜野湾南風原線	H23供用予定	4車線へ拡幅整備	渋滞損失時間の低減
5	南風原中央線	-	線形改良・拡幅整備	渋滞損失時間の低減
6	真地久茂地線外1線	-	4車線のバイパス整備	渋滞損失時間の低減
7	国道58号 真喜屋交差点	H18年度	交差点改良	渋滞損失時間の低減
8	国道58号 名護東道路	H20年代後半	名護市大北 - 数久田間に2車線道路を整備	渋滞損失時間の低減
9	国道58号 恩納バイパス	H22年度全線暫定供用	恩納村瀬良垣 - 南恩納間に2車線道路を整備	渋滞損失時間の低減
10	恩納村レンタサイクル社会実験	H18年度	恩納村内にてレンタサイクルの貸し出しを実施	渋滞損失時間の低減
11	国道58号 恩納南バイパス	H21年度部分暫定供用	恩納村谷茶 - 仲泊間に2車線道路を整備	渋滞損失時間の低減
12	嘉手納ロータリー改良	継続	交差点改良	交通渋滞の緩和
13	大平交差点改良	H18年度	ランプの拡幅(2車線化)	交通渋滞の緩和
14	その2 公共交通を有効活用した渋滞緩和策の実施	H18年度実施	浦添市内の店舗駐車場等を利用したP&BRを実施	渋滞損失時間の低減
15	新都心地域における自転車を活用した渋滞緩和	H18年度実施	新都心地域内の公共施設駐車場を活用し、移動をバス、自転車、徒歩への誘導	渋滞損失時間の低減
16	沖縄西海岸道路 那覇西道路	H22年度供用	那覇空港 - 那覇市若狭間に6車線道路を整備	渋滞損失時間の低減
17	新都心牧志線外1線	-	4車線の新設整備	渋滞損失時間の低減
18	その1 豊見城道路の延伸	H18年度全線暫定供用	小禄バイパス - 糸満市間に4車線道路を整備	渋滞損失時間の低減

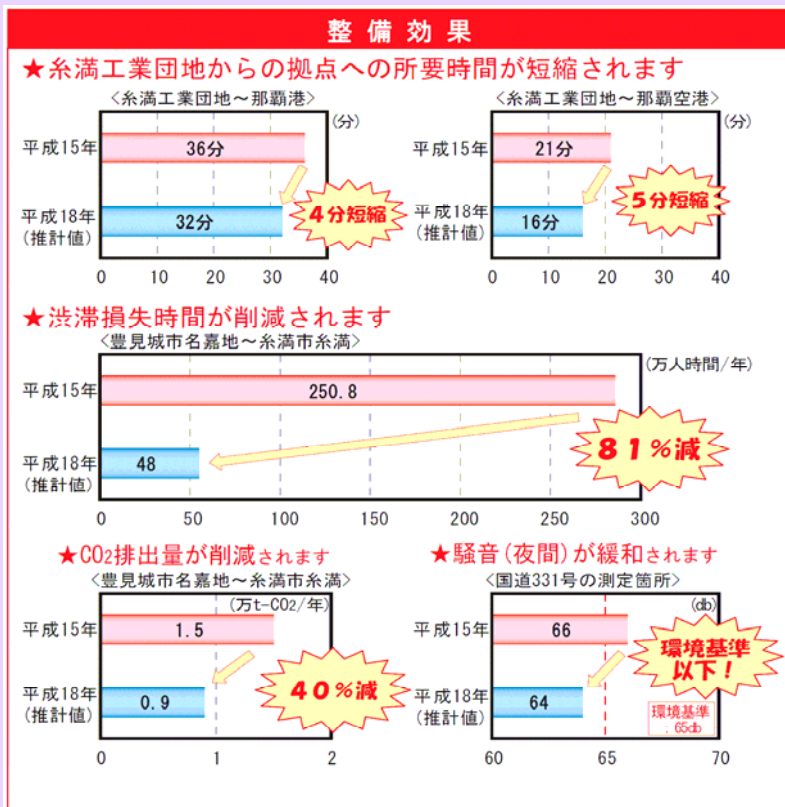




豊見城道路の延伸

豊見城道路の全線暫定供用に向けて、延伸を実施

豊見城道路は、国道331号の豊見城市及び周辺部の交通混雑緩和、地域開発のプロジェクトの支援を目的として、平成16年3月に糸満市西崎区間の一部1.1km、平成18年2月に豊見城市瀬長地区の2.3kmの暫定供用が行われ、残りの区間の供用を平成18年度中に実施し、全線暫定供用を行います。



【整備状況】



公共交通を有効活用した渋滞緩和策の実施

モノレール、バスなどの公共交通を有効活用

浦添市以北から那覇市中心部への自動車での交通を抑制し、那覇都市圏の渋滞緩和を目的としたパーク&バスライド社会実験（TDM施策）を実施します。

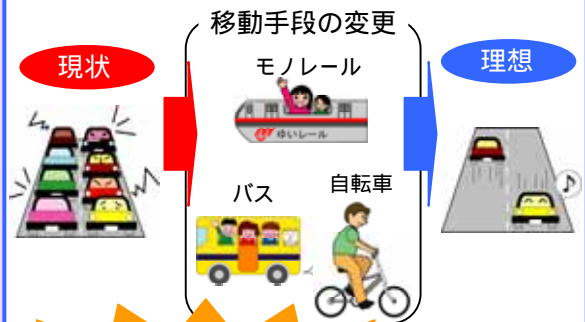


【那覇市内周辺での取り組み状況】



TDM施策とは??

自動車の効率的な利用や公共交通への利用転換など、**移動手段の変更**（モノレールやバス、自転車等）を促して、道路の交通混雑を緩和していく施策を意味します。



同様の対策としてモノレール小禄駅で実施しているパーク&モノレールライド(隣接するジャスコ那覇店と協働)は、大好評!!

【パーク&バスライド(P&B)社会実験のイメージ】

国道58号を經由して那覇市街に流入する車両に対して、浦添市内の店舗等の駐車場と路線バスを利用したP&B社会実験を実施

